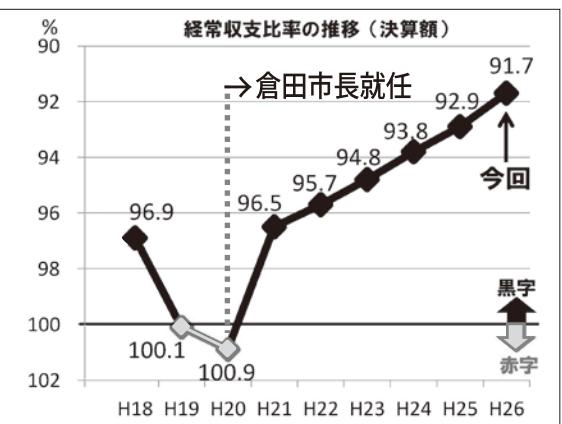


平成26年度も黒字決算

箕面市財政のV字回復

倉田哲郎市長が就任した平成20年頃、箕面市の財政はドン底にありました。倉田哲郎市長は、就任以来、子育て支援や高齢者の健康増進など、必要なところには思い切った投資をしながらも、市役所の無駄を徹底的に行なう財政改革を断行し、見事にV字回復を果しました。

平成19年度・20年度、赤字に陥っていました。経常収支比率は、就任後、黒字転換し、一度も前年度を下回ることなくV字

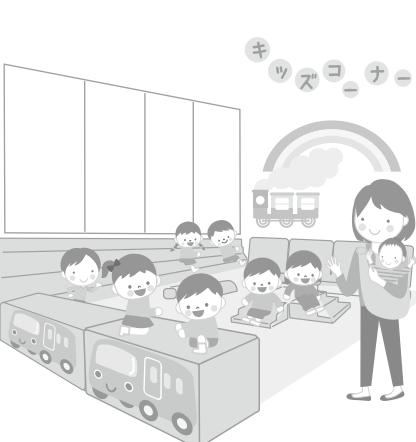


カーブを描き続けています。平成24年度以降は「完全黒字」を達成し、貯金(基金)も就任時から90億円増加させ、残高237億円に達しました。

箕面市独自の「公務員制度改革」を断行

倉田哲郎市長は、市職員の人事・給与構造にも大きくメスを入れました。“頑張る職員に報い、頑張らない職員には報いない”をコンセプトに、給与制度において「年齢と待遇の一致」から「責任と待遇の一致」へ“給料表”を大きく転換し、かつ、人事制度において客観性・納得性を上げる評価制度を導入し、全国にも例のない画期的な制度改革を断行しました。

箕面市は、キッズコーナーの設置やカラフルな床面の案内表示の実施などを順次実施して、従来の市役所のイメージを一新し、いつぞう親しみやすい市役所づくりを進めています。



箕面市では、身近で便利なサービスの拡充における市民サービスの向上を図ってきました。特に、主要な窓口業務の土曜開庁を平成26年2月から本格実施しました。これにより市民サービスの利便性は大いに高まりました。

仕事や学校などで平日に市役所へ行くことができない方々への利便性の向上や、3・4月の引っ越しシーケンス等の窓口が混雑する期間の待ち時間を大幅に緩和しています。また今後は、コンビニでの住民票の発行も計画中です。

topic
●
土曜開庁でたいへん便利に!!

この8年間で箕面市は前に向かって変化をしてきたと思います。特に、“子育てしやすさ日本一”をかけ、医療費助成の拡大、通学路への防犯カメラ、子育て応援幼稚園や市役所内のキッズスペースなど、今までになかった取組が数多く実現され、本当に安心して子育てをすることができるようになりました。

そして、ゆるキャラ“滝ノ道ゆづるくん”が誕生し、併せてかわいい“オレンジゆづるバス”が市内を走るようにな

り、とても便利になりました。

ですが、箕面市にとって一番の変化といえば、鉄道延伸です！北大阪急行が船場地区や萱野地区にすれば、その後の箕面市の発展にも大きく関わってくることだと思います。倉田哲郎市長でなければこのような箕面市にはなっていなかっと思いますし、これからも、時代の最先端を行きつつ、安全で安心な箕面市となることに、大いに期待できると信じています。（坊島1丁目 T.O）

●編集室に寄せられた
古戸から

これからも大いに期待



箕面市長倉田哲郎 まちづくりニュース

“箕面のチカラ”

倉田哲郎後援会 Fax 06-7635-7195

2016年03月号

昨年10月15日、市議会の議場において、倉田哲郎市長は、市長3期目をめざして、今年8月の箕面市長選挙への出馬を表明しました。私たち、倉田哲郎後援会は、倉田哲郎市長が次の4年も箕面のために全力投球し、箕面のまちをさらに磨き上げてくれることを期待しています。この夏に向け、倉田哲郎市長への支持をさらに広げていきたいと考えていますので、これまで以上にみなさまの力強いご支援をお願い申し上げます。以下、市議会議場での表明の様子をご紹介します。

第15代箕面市長という重責を担わせていただいてから、通算で2期8年が経過しようとしています。この8年間、多くの方が“箕面にずっと住み続けたい”と感じられるまちとなることをめざし、“見えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思い切って伸ばす”的姿勢で、全力で職責に当たってきました。

箕面市の人口は、この6年間で6%の増加を果たしました。市制施行以来初めて経常赤字に陥っていた7年前の決算からは、財政のV字回復を果たすことができました。また、2期目の公約に掲げた3つのテーマ「教育改革」「公務員制度改革」「北大阪急行線の延伸」も、それぞれ大きな進展を見せていました。

人口14万人が視野に入ってきた今、60年にわたる箕面のまちづくりは完成に近づき、数年のうちに、その最終仕上げを

していく時期にきました。特に、これまでの子育て・高齢者支援を持続可能な形で拡充しきめ細やかに展開していくことや、良好な住環境をずっと維持できるよう、電車・バス・道路などの交通基盤を充実させ、学校や病院などの基幹施設も時代にあわせて整えていくことが必要です。

今年は、8月に市長選挙という政治選択の年となります。この重要な局面に、ぜひひとも引き続きまちづくりに携わり、完遂していきたいと考えています。このため、次期の市長選挙に立候補し、「スピードと実行力」を信条に、箕面市政を担う決意でありますことを、ここに表明させていただきます。

（平成27年10月15日 箕面市議会・議場にて）

倉田哲郎

スピードと実行力で
箕面のまちづくりを
上げたい。



倉田哲郎 Web Site
http://kurata.info/

倉田哲郎

検索

ツイッター(つぶやき)へも、ココから！



倉田哲郎 Web Site http://kurata.info/

箕面どう変わった？

スピードと実行力、倉田市長の8年間（マニフェスト検証）

●箕面シニア塾
の開講!
ラジオ体操や
健康ウォーキングも
盛況!

豊富な知識や経験をお持ちのシニア層の方々の仲間づくりと地域づくりのため、平成22年度「箕面シニア塾」が開校。また、健康で長寿な方々が輝くまちづくりに向けて、「ラジオ体操」「週末滝道ウォーキング」など、たくさんの事業が広がってきています。

●地域みんなで
備えよう!
毎年1月17日の
「全市一斉
総合防災訓練」!

阪神・淡路大震災が起きた1月17日に「全市一斉総合防災訓練」を行って4回になりました。家族バラバラに過ごす平日、少し違った過ごし方の休日など、曜日に関係なく防災訓練をしておくことが、いざという時の行動につながります。各小学校区の地区防災委員会が避難所で、避難者受け入れ訓練や避難所体験、自衛隊によるトリアージ訓練など、多くの方々の参加のもと、さまざまな訓練が行われています。

●余暇サークル
活動の充実!
新松寿荘・
稻ふれあいセンター
のオープン

高齢者の健康づくりや生きがいづくり、子育て中の若い世代のサポート、地域住民の活動支援など、高齢者から子どもまでの世代を超えたふれあいの場として「稻ふれあいセンター」を平成25年4月にオープンしました。整備と運営は民活により市の負担が最小限に抑えられています。

●安心を守る
「防犯カメラ」
通学路750台+
自治会360台を
全市展開

より安全・安心なまちづくりを進めため、倉田市長は「やるからには徹底的に！」と、箕面警察署に発足した特別プロジェクトチームの協力を得て、すべての通学路に750台もの防犯カメラを設置。加えて、自治会が設置する防犯カメラへの9割補助の実施により360台を増設しました。不審者情報の減少、ひったくり犯の逮捕のきっかけになるなどその効果が表れています。

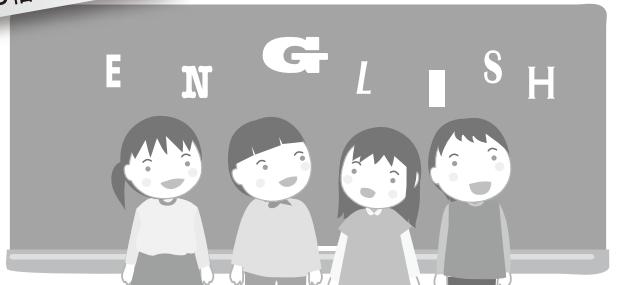


●小中学校9年間を通じて
子どもの「学力・
体力・豊かな心」を
育みます

小中学校の全学年で毎年実施する「箕面子どもステップアップ調査」は、学校での学習指導への活用はもちろんのこと、子ども一人ひとりの学習の理解度やアドバイス、学年全体の状況なども家庭に届きます。家庭学習の指針にもなり、家庭と学校が同じ視点に立つことで、子どもの成長を牽引しています。

いざというときも安心して子育てできる環境をめざして、子どもの医療費助成を積極的に拡大しました。1期目就任の翌年度には、通院を「小学校入学前まで」、入院を「中学校入学前まで」に拡大。さらに平成25年4月に、入院・通院とも「中学校卒業まで」に大幅拡大、全国トップクラスの水準を達成しています。

昨年4月から、小中学校の全学年において、毎日の英語授業を開始しました。2学期からは、外国人の英語指導助教が7名から3倍の20名に増員されて全校に配置。また、更なる増員も計画されています。子どもたちは、本物の英語に日々接して自然に英語に親しみ、使える英語を身につけていきます。



平成25年5月に小野原図書館が開館。本の自動貸出機導入などで運営経費を圧縮し、これまでの図書館経費の範囲内で図書館の増設が実現しました。また、平成27年度には、中央図書館がリニューアル。天井までの書架でエリアを区切り、親子づれでも遠慮なくのびのび、大人も静かに読書が楽しめる大好評です。

小中学校の全学年で毎年実施する「箕面子どもステップアップ調査」は、学校での学習指導への活用はもちろんのこと、子ども一人ひとりの学習の理解度やアドバイス、学年全体の状況なども家庭に届きます。家庭学習の指針にもなり、家庭と学校が同じ視点に立つことで、子どもの成長を牽引しています。

8年前、全国最年少の市長としてスタートした倉田市政。「スピードと実行力」で街の姿を次々と変えてきました。今では当たり前に感じている生活シーンでも、思い返せば8年前の箕面にはなかったものばかり。

●北大阪急行線の
延伸、2020年度に
開業決定!

倉田市長は、半世紀にわたる箕面市の悲願であった北大阪急行線の箕面への延伸を「決定」。東京オリンピック・パラリンピックと同じ2020年度の開業に向け、間もなく着工します。二つの新駅によって、市街地の大部分が徒歩や自転車で駅に直接アクセスでき、また、不便だった市内の東西接続が格段に良くなり、バスも再編され、高齢社会の大きな課題である自動車依存度を市全体で低減します。

●すっかり箕面の景色に馴染んだ
オレンジゆずるバス
新たに発進した
オレンジゆずるタクシー

市民の皆様の協働でルートをつくり上げた「オレンジゆずるバス」。通勤、通学、通院、買い物など、誰もが気軽に乗れる愛されるバスに大変身しました。また、公共交通機関を利用しづらい方々の「オレンジゆずるタクシー」。普通のタクシーのように乗りたいときに呼べる便利なゆずるタクシーが誕生し、移動が困難な方々の生活しやすい環境づくりに貢献しています。

●学校給食にならぶ
「箕面産の野菜」
農業公社による
遊休農地の再生

市街地と田園風景がほどよく共存する箕面でも農地の減少が課題となっています。平成25年に「箕面市農業公社」が設立され、遊休農地の活用と地産地消を推進。おかげで、それまで「箕面産」野菜の使用がゼロだった学校給食でも積極的に取り入れられ、地産地消率は40%を突破。新鮮で安全な給食に子どもたちも大喜び。今後も、独立採算で農業の活性化が進められます。

●住みよさランキング
4年連続「大阪1位」
の快挙!

平成23年4月に、箕面市は人口13万人を突破しました。その後も大阪府内でトップの人口増加率で、2位以下を大きく引き離しており、しかも、子どもの率も増えています。「住みよさランキング2015」（東洋経済新報社）でも、大阪府内で4年連続の第1位。倉田市長の実行力でさまざまな取組が展開され箕面に根づいた証です。

倉田哲郎市長の足跡 8年間の活動録

- 第15代箕面市長に就任(8/27)
• 子どもの医療費助成を小学校卒業まで拡大
• 箕面グリーンロード（トンネル）の値下げに向けた社会実験を実現
• 市立小・中学校・幼稚園の耐震化率100%を達成（大阪府内初）
• 豊富な知識と経験をお持ちの方々の仲間づくりと地域づくりの為の「シニア塾」開校
• 箕面駅周辺と滝のリニューアルを完了。滝道で「川床」を復活
1期目
H20 8月～
• 平成21年度予算で6年ぶりに經常収支を黒字転換
• 新たなバス交通「オレンジゆずるバス」の運行を開始
• 余野川ダム負担金について国が異例の返還決定、箕面市負担分の全額返還が確定
• 全市立小学校に地域防犯活動拠点「地域安全センター」を設置。警察官が定期巡回
• 箕面学力体力生活状況総合調査スタート
• 「住みよさランキング大阪連続1位」の始まり。
• 保育所の待機児童数をゼロにする「箕面市待機児童ゼロプラン（H21.10）」を達成
• 新稻の山林を無償で借地し、市民の森「箕面新稻の森」として保全。甲子園球場1.3個分
月 主な施策と出来事
24 8 • 2期目 第16代箕面市長に就任(8/27)
10 • 全国初の「希望業務選択方式」入札で公共施設の管理経費を約3億2千万円削減
1 • 小野原地域の多世代交流拠点「小野原多世代地域交流センター」がオープン
3 • 各小学校区の地区防災委員会が中心となる「全市一斉総合防災訓練」実施
3 • 「箕面市緊急経済対策プロジェクト」を発表
～74億6千万円の事業を地域に還元するとともに、市の負担を20億6千万円軽減～
• H24年度決算で10年ぶりの完全黒字を達成し、箕面市財政のV字回復を果たす
25 4 • 箕面の農地を守るために「箕面市版農業公社」を設立
• 福祉複合施設「稻ふれあいセンター」がオープン
• 子どもの医療費助成を全国トップクラスの中学校卒業までに拡大
• 箕面森町への学校法人「履正社」の誘致に合意
5 • 小野原地域に「多文化交流センター・小野原図書館」がオープン
8 • 全市立小中学校でエレベーターの設置を完了（大阪府内初）
9 • 全市立中学校で自校調理方式による給食をスタート
12 • 「ペット霊園等を規制する条例」を議会で可決
2 • 市役所窓口業務の「土曜日開庁」を本格実施
3 • 北大阪急行線延伸の事業化について、大阪府、鉄道事業者との基本合意書を締結
26 5 • 「桜井駅周辺地区再整備計画」を策定・桜井駅前の再整備を本格化
6 • 人事・給与構造改革を推進、箕面市版「公務員制度改革」の関連条例を議会で可決
10 • 不妊治療費用の助成に向けた補正予算を議会で可決
12 • 箕面市独自の目的税「開発事業等緑化負担税条例」を議会で可決（H28年7月施行）
～開発事業者から税をいただき、市街地の緑化や農地保全、里山保全活動に活用～
1 • 乗りたい時に乗れる「オレンジゆずるタクシー」を運行開始
• 自転車事故の防止を目的とする「箕面市自転車安全利用条例」を施行
2 • 平成27年度予算案を発表（市長就任以来7年連続で經常収支を黒字化。前年度より改善）
3 • 全市立小中学校的通学路に750台の防犯カメラを設置
• ダブルフリーフォールすべり台が楽しめる「彩都ないろ公園」がオープン
27 4 • 防犯カメラ設置費用90%補助を開始（～H28）
• ペットボトルの全戸収集を開始
• 小・中学校の全学年で英語授業の毎日実施をスタート
• 中央図書館をリニューアルオープン！
～子どもたちがのびのびできる「にぎやかエリア」と
静かに読書が楽しめる「一般エリア」にフロアを分割～
• PFI事業手法を導入し、箕面駅前第一駐車場と駐輪場のリニューアル工事に着手
5 • Jリーグが箕面市をガンバ大阪のホームタウンとして公式認定
6 • 牧落交番を市役所敷地（南東角地）の目立つ場所に移転。箕面警察との連携強化
• 大阪大学箕面キャンパスの船場新駅周辺への移転について、覚書を交換
• 東洋経済新報社の「住みよさランキング」で箕面市が4年連続の大大阪1位を獲得
7 • 豊川支所に～2歳児を対象とした小規模保育事業所「ひじりとよかわ保育園」を開設
• 「滝ノ道ゆずる」ナンバープレートを発行開始
～2種類のオリジナルナンバープレートが選択可能に（府内初）～
10 • 台湾の旅行会社とメディアを招待し、箕面の魅力体感ツアーを実施
• ブロのスタンプマンが交通事故を再現するスケアード・ストレー教育技法による
自転車安全教室を市立中学校で実施（H24年度から毎年実施）
11 • 子どもが選ぶ「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」開催（H22年度から毎年実施）
• 学習塾の映像コンテンツを活用した学力向上実証研究を実施
• 「ゆるキャラグランプリ」で滝ノ道ゆずるが5年連続大阪1位（全国20位／1092キャラ）
12 • 箕面オリジナル「ゆずる完熟堆肥」の販売を開始
• 下水道使用料を値下げする「下水道条例」の改正を議会で可決（H28年4月施行）
～消防の広域化で消防力の強化と効率的な運営を実現～
1 • 全市一斉総合防災訓練を実施（H24年度から毎年実施）